
第1日 10月28日(金) 13:00~15:30

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 「日本外交における『価値』の再検討」

司会 井上 寿一 (学習院大学)

報告 奈良岡 聰智 (京都大学)

「近代日本における『理念的外交』——第一次世界大戦期を中心に」

楠 綾子 (国際日本文化研究センター)

「戦後日本外交と『価値』——吉田路線をめぐって」

長 有紀枝 (立教大学)

「人間の安全保障と日本外交における『価値』の再検討」

討論 中西 寛 (京都大学)

佐々木 雄一 (明治学院大学)

部会2 「GAFAをめぐる国際政治経済学」

司会 古城 佳子 (青山学院大学)

報告 吉沢 晃 (関西大学)

「EUの競争政策とデジタル・プラットフォーム事業者規制」

須田 祐子 (東京外国語大学)

「デジタル時代の『規制の政治』とデータプライバシー」

津田 久美子 (北海学園大学)

「デジタル課税の歴史的合意——意義と課題」

討論 遠藤 乾 (東京大学)

西村 もも子 (東京女子大学)

部会3 「国際政治史は刷新されるのか——接近法を問いなおす」

司会 柴山 太 (関西学院大学)

報告 佐藤 尚平 (早稲田大学)

「脱植民地化と史料の移管・破棄・隠匿——日英両帝国の比較に向けて」

益田 肇 (シンガポール国立大学)

「冷戦世界を考えなおす——社会戦争の時代」

高橋 和宏 (法政大学)

「『日米半導体交渉』再考」

討論 後藤 春美 (東京大学)

阿南 友亮 (東北大学)

**部会4 From Voluntarism to Obligation: The Rise of Formal Institutions in the Asia-Pacific
(英語で実施)**

Chair: SUZUKI Motoshi (Kyoto University)

Speakers:

HOSHIRO Hiroyuki (University of Tokyo)

“Aid Coordination through Competition?: China and Japan in Pursuit of Economic Infrastructure Projects”

UJI Azusa (Kyoto University)

“Overcoming Political Competition in Environmental Cooperation”

GRIMES William (Boston University)

“Financial Cooperation in the Asia-Pacific as Regime Complex: Explaining Patterns of Coverage, Membership, and Rules”

HOLLIFIELD James (Southern Methodist University)

“Migration Interdependence in East and Southeast Asia”

Discussant:

MIDFORD Paul (Meiji Gakuin University)

部会5 「宗教要因とリベラル秩序の動揺」

司会 見市 建 (早稲田大学)

報告 高光 佳絵 (千葉大学)

「戦間期におけるYMCAネットワークと米国中心のアジア・太平洋秩序形成」

星野 昌裕 (南山大学)

「中国の民族・宗教政策とリベラル秩序の変容」

坂梨 祥 (中東研究センター)

「イランの宗教体制とリベラル秩序——異議申し立てと正当性」

討論 山崎 望 (駒沢大学)

横田 貴之 (明治大学)

分科会セッションA (15:45~17:45) 別掲

第2日 10月29日 (土) 9:30~12:00, 16:15~19:05 (共通論題)

午前の部会 (9:30~12:00)

部会6 「政治と音楽——国際関係を動かす対抗文化」

司会 細田 晴子 (日本大学)

報告 松本 佐保 (日本大学)

「イギリスの脱植民地化とロック、パンク、レゲエ音楽」

福田 宏 (成城大学)

「『正常化』期のチェコスロヴァキアにおける『脱イデオロギー化』とロック音楽の持つ政治的位相の変容」

高田 馨里 (大妻女子大学)

「文化戦争から対テロ戦争へ——Rap/Hip Hopの軍事化を問う」

討論 半澤 朝彦 (明治学院大学)
松尾 秀哉 (龍谷大学)

部会 7 「同盟からネットワークへ——安全保障協力の新潮流」

司会 森 聡 (慶應義塾大学)

報告 神保 謙 (慶應義塾大学)

「インド太平洋地域における安全保障協力の構図」

山口 信治 (防衛研究所)

「中国のパートナーシップ外交」

溜 和敏 (中京大学)

「死語としての非同盟——現代インドの安全保障協力概念」

討論 庄司 智孝 (防衛研究所)

福田 潤一 (笹川平和財団)

部会 8 日韓合同部会 “Economic Security: Japan and South Korea” (英語で実施)

Chair: IIDA Keisuke (University of Tokyo)

Speakers:

SUGINOHARA Masako (Ferris University)

“Economic Security: The Case of Japan”

LEE Seungjoo (Chung-Ang University)

“US-China Strategic Competition and the Evolution of Korea’s Economic Statecraft”

LEE Wanhwi (Ajou University)

“Economic Security in Korea: Issues and Implications”

Discussants:

VEKASI Kristin (University of Maine)

LEE Junghwan (Seoul National University)

部会 9 「政治体制・内政と外交とのリンケージ」

司会 松本 はる香 (アジア経済研究所)

報告 井上 一郎 (関西学院大学)

「官僚制と習近平時代の中国対外政策決定」

仙石 学 (北海道大学)

「中東欧諸国の政党政治とウクライナ」

浜中 新吾 (龍谷大学)

「分離壁の旗下集結効果——ミクロ的基礎を求めて」

討論 多湖 淳 (早稲田大学)

村上 勇介 (京都大学)

部会10 「自由論題—国際政治学の最前線」

司会 片岡 貞治（早稲田大学）

報告 藤川 健太郎（名古屋大学）

“Building Peace after Self-determination and Partition: Faulty Assumptions?”

ボホロディチ・ベアタ（アダム・ミツキエビッチ大学）

「日米同盟に関する安全保障のコンセンサス—安全保障政策策定におけるシンクタンクと『同盟マネージャー』の役割」

稲永 祐介（龍谷大学）

「環境危機へのアラート—生物多様性の保全をめぐるフランス政治」

討論 千々和 泰明（防衛研究所）

窪田 悠一（日本大学）

分科会セッションB（12：15～13：45）別掲

分科会セッションC（14：00～15：30）別掲

総会（15：45～16：05）

【共通論題】「国際規範の衰退とグローバルガバナンスの停滞」（16:15～19:05）

司会 田所 昌幸（国際大学）

報告 西崎 文子（東京大学）

「『力の驕り』再考—冷戦後国際秩序とアメリカ」

廣瀬 陽子（慶應義塾大学）

「力による現状変更—ロシアの論理にどう対抗するか」

高柳 彰夫（フェリス女学院大学）

「COVID-19・ウクライナ危機時代のSDGsと国際開発協力のガバナンス」

討論 篠田 英朗（東京外国語大学）

西谷 真規子（神戸大学）

第3日 10月30日（日）14:00～16:30

分科会セッションD（9：30～11：00）別掲

分科会セッションE（11：15～12：55）別掲

午後の部会（14:00～16:30）

部会11 「米ソ冷戦の終焉と東アジア」

司会 李 鍾元（早稲田大学）

報告 金 成浩（琉球大学）

「東アジア冷戦構造の変容と継続—北朝鮮核問題との関連性を中心として」

三宅 康之（関西学院大学）

「中国と米ソ冷戦終焉—パーリア国家から世界の工場へ」

若月 秀和（北海学園大学）
「冷戦の終焉と日本の東アジア外交」

討論 江藤 名保子（学習院大学）
富樫 あゆみ（東洋英和女学院大学）

部会12 「グローバル・マイグレーション——主体・規範・実践の変容と再編」

司会 石井 由香（静岡県立大学）
報告 飯笹 佐代子（青山学院大学）

「マヌス島からの抵抗——オーストラリアの国外難民収容政策と収容されたアーティストらの抗議活動」

杉木 明子（慶應義塾大学）

「国際難民保護レジームの変容とレジリエンス——ノン・ルフールマン原則と難民の非自発的帰還」

堀井 里子（国際教養大学）

「欧州における難民の『自立』支援の批判的検討——非国家主体によるトランスナショナルな実践」

討論 土谷 岳史（高崎経済大学）
中坂 恵美子（中央大学）

部会13 「核兵器をめぐる国際政治の現在」

司会 秋山 信将（一橋大学）
報告 川崎 哲（ピースボート）
「核兵器禁止条約の意義と展望」

鶴岡 路人（慶應義塾大学）

「ポストINF条約の課題」

向 和歌奈（亜細亜大学）

「核軍縮における先制不使用の効用と限界」

討論 石田 淳（東京大学）
栗田 真広（防衛研究所）

部会14 「ウクライナ・ロシア問題の多角的考察」（市民講座を兼ねる）

司会 宇山 智彦（北海道大学）
報告 大串 敦（慶應義塾大学）

「脆弱な中央・強靱な地方——独立後ウクライナの政治構造」

松寄 英也（津田塾大学）

「冷戦終焉とウクライナの秩序観——主権擁護の構想の歴史的変遷」

立石 洋子（同志社大学）

「ロシアのアイデンティティと歴史——ウクライナとの関係の観点から」

討論 浜 由樹子（静岡県立大学）
熊倉 潤（法政大学）

部会15 「研究・教育を取り巻く環境と課題——ライフワークバランス・ジェンダー・キャリアについての考察（ラウンドテーブル方式）」

司会 畠山 京子（新潟県立大学）

報告 礪波 亜希（筑波大学）

「女性研究者の研究・教育環境と課題——『帰還者』としての経験から」

松岡 美里（帝京大学）

「加速する社会における研究・教育環境と課題——若手女性研究者の視点から」

堀江 正伸（青山学院大学）

「大学での研究・教育における『実務家教員』の役割と課題」

*下記のプログラムは7月25日現在の暫定版であり、確定版ではないことをご了承ください。
(大会実行委員会)